

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

平成 27 年 8 月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

1 建設業界のトピックス

■ICT とロボット技術が建設業のワークスタイルを変革

建設現場における ICT(Information and Communication Technology)とロボット技術の活用が急速に進んでいる。

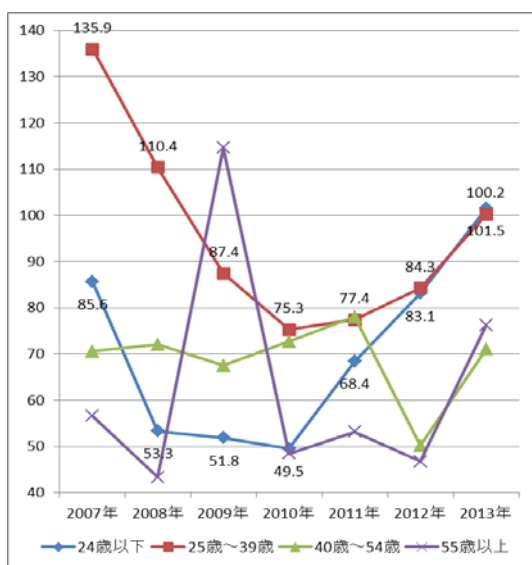
例えば、建設現場で重い資材を運ぶ負担を軽減する装着型の「パワーアシストスーツ」の導入や、iPad 等のタブレット端末で図面や資料を管理できるクラウドシステムの導入、無人飛行体(ドローン)や自動制御に対応する ICT 建機を組み合わせた建設現場の自動化への取り組み等が、建設各社で積極的に展開されている。

また、日本再興戦略の一環として開催されていた有識者による「ロボット革命実現会議」においては、ロボットの開発・活用を推進するための「ロボット新戦略」を平成 27 年 1 月に策定し、その中で、インフラ・災害対応・建設分野でロボット活用を推進していくことを表明している。

このような取り組みの成果として、建設現場ではタブレット端末を使って大量の図面の管理、工程管理、情報伝達や共有等をおこない、危険作業は遠隔操作の建設機械を使い、重労働ではパワーアシストスーツを活用するといったワークスタイルの変革が急速に進むことが期待される。

社会インフラ(道路、橋梁、トンネル等)の老朽化が進み、維持・修繕の必要性が高まることや、東日本大震災のような自然災害からの復興において重要な役割を果たすことを考えると、建設業は将来的にも我が国にとってなくてはならない重要な産業である。このようなワークスタイルの変革を進めることにより、若年者や女性、シニアにとっても魅力的な業界となり、優秀な人材を確保していくことが建設業界にとって重要なテーマになると考えられる。

【図表 1 建設業の年齢層別入職者数の推移】



出典:厚生労働省「雇用動向調査」より作成

◆建設業における若年入職者数は大幅に増加

建設業の年齢層別に入職者数の推移を見ると図表 1 のようになり、24 歳以下の若年入職者数は 2010 年の 49,500 人から 2013 年には 101,500 人へと 2 倍以上に増加している。また、働き盛りである 25 歳～39 歳も 2010 年の 75,300 人から 2013 年には 100,200 人に増加している。

このように若年入職者数が大幅に増加している背景には、建設各社が活発な採用活動を展開したこと、人材確保のために処遇の改善や賃金水準の引き上げに取り組んできたこと等があるが、それら以外に、ICT とロボット技術が建設業のワークスタイルを大幅に変革させ、生産性の高い魅力的な業界になりつつあることも大きな要因ではないかと考えられる

2 建設業界の最新雇用関連データ(2015 年 7 月 31 日公表)

(1) 就業者数と雇用者数

◆建設業の就業者数は 510 万人(前年同月比 101.8%)、雇用者数は 421 万人(前年同月比 103.7%)といずれも増加

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
就業者数(万人)	501	491	506	505	524	516	503	489	479	498	510	505	510
前年同月比	100.2%	104.0%	104.5%	100.0%	102.7%	101.4%	102.2%	99.6%	96.2%	97.8%	100.0%	98.8%	101.8%
雇用者数(万人)	406	395	408	410	425	423	413	400	387	404	412	412	421
前年同月比	99.0%	101.3%	102.8%	100.0%	101.9%	102.2%	103.3%	100.3%	96.0%	97.1%	100.0%	99.3%	103.7%

出典:総務省「労働力調査」より作成

(2) 建設業の新規求人

◆建設業の新規求人数は 58,743 人(前年同月比 97.6%)となり、人材需要は前月に比べてやや高まった

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人(人)	60,204	65,168	56,840	63,786	66,823	53,199	50,507	64,720	59,353	56,917	62,930	54,566	58,743
前年同月比	105.7%	100.4%	94.7%	99.7%	96.3%	87.7%	98.2%	96.1%	98.0%	95.7%	94.5%	90.4%	97.6%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 建設技術職の雇用動向

◆建築・土木・測量技術者の有効求人倍率は 3.76 倍(前年同月比+0.03 ポイント)と3カ月ぶりに上昇に転じた

◆充足率は前年同月比 1.6 ポイントの低下で 7.1%となり、企業にとって人材確保が非常に困難な状況が続く

<実績(常用・除くパート)>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人(人)	16,868	18,794	16,058	17,443	18,790	14,925	14,771	17,987	16,288	16,016	17,262	15,233	17,276
有効求人(人)	52,411	51,661	50,154	51,094	51,215	49,828	47,151	46,912	48,185	49,461	48,638	47,527	48,925
新規求職者数(人)	3,176	3,303	2,857	2,914	3,049	2,307	2,259	3,153	2,788	3,279	4,679	3,063	3,027
有効求職者数(人)	14,045	13,534	12,929	12,802	12,615	11,618	10,934	11,221	11,389	12,187	13,640	13,356	13,022
有効求人倍率	3.73	3.82	3.88	3.99	4.06	4.29	4.31	4.18	4.23	4.06	3.57	3.56	3.76
就職件数(人)	1,457	1,417	1,135	1,353	1,356	1,078	989	954	1,002	1,274	1,345	1,252	1,222
充足率	8.6%	7.5%	7.1%	7.8%	7.2%	7.2%	6.7%	5.3%	6.2%	8.0%	7.8%	8.2%	7.1%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

<前年同月比>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人	93.5%	97.9%	85.2%	92.9%	93.2%	82.4%	95.5%	92.8%	91.8%	97.7%	87.2%	89.1%	102.4%
有効求人	100.8%	98.3%	92.9%	93.1%	91.5%	90.2%	90.4%	90.4%	93.3%	94.9%	91.9%	91.4%	93.3%
新規求職者数	90.5%	88.2%	86.4%	92.1%	92.2%	86.3%	90.3%	93.9%	96.1%	97.3%	93.4%	86.4%	95.3%
有効求職者数	83.2%	84.2%	85.6%	88.0%	89.2%	89.8%	90.4%	91.4%	93.2%	95.3%	94.5%	92.2%	92.7%
有効求人倍率	0.65	0.55	0.31	0.22	0.10	0.02	0.00	-0.05	0.00	-0.01	-0.10	-0.03	0.03
就職件数	89.8%	86.2%	82.0%	93.4%	91.1%	85.7%	87.9%	86.5%	82.5%	93.5%	91.6%	84.4%	83.9%
充足率	-0.4%	-1.0%	-0.3%	0.0%	-0.2%	0.3%	-0.6%	-0.4%	-0.7%	-0.4%	0.4%	-0.5%	-1.6%

(4) 建設技能工の雇用動向

◆建設・採掘の職業の有効求人倍率は 2.80 倍(前年同月比+0.02 ポイント)とほぼ横ばいで推移

◆充足率は前年同月比 1.4 ポイントの低下で 14.7%となり、企業にとって人材確保が困難な状況が続く

<実績(常用・除くパート)>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人(人)	31,709	34,005	29,718	33,637	35,273	27,954	25,863	33,736	30,777	30,660	32,199	28,617	31,243
有効求人(人)	93,882	93,673	91,802	94,150	95,870	92,513	85,981	85,612	88,382	92,384	90,926	88,243	89,147
新規求職者数(人)	8,502	8,326	7,320	8,313	7,936	6,377	6,115	8,763	8,054	9,257	10,517	7,873	8,259
有効求職者数(人)	33,819	32,724	31,119	31,077	30,459	28,305	26,497	27,888	29,073	31,690	33,651	32,479	31,860
有効求人倍率	2.78	2.86	2.95	3.03	3.15	3.27	3.24	3.07	3.04	2.92	2.70	2.72	2.80
就職件数	5,091	4,995	4,120	4,706	4,857	3,952	3,310	3,384	3,586	4,360	4,545	4,257	4,584
充足率	16.1%	14.7%	13.9%	14.0%	13.8%	14.1%	12.8%	10.0%	11.7%	14.2%	14.1%	14.9%	14.7%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

<前年同月比>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人	111.6%	102.7%	97.4%	101.5%	97.8%	89.3%	96.5%	94.8%	96.7%	98.6%	92.9%	90.8%	98.5%
有効求人	110.3%	106.8%	104.7%	101.5%	99.4%	96.0%	95.4%	94.2%	95.9%	96.8%	95.6%	94.1%	95.0%
新規求職者数	93.2%	89.3%	89.1%	98.3%	92.0%	89.8%	97.0%	95.1%	103.3%	100.0%	94.1%	89.4%	97.1%
有効求職者数	86.6%	87.2%	88.4%	90.7%	91.3%	91.0%	92.2%	93.6%	96.1%	97.1%	96.0%	93.4%	94.2%
有効求人倍率	0.60	0.52	0.46	0.32	0.26	0.17	0.10	0.02	-0.01	-0.01	-0.01	0.02	0.02
就職件数	93.1%	88.1%	91.1%	93.2%	86.9%	81.8%	84.8%	87.2%	88.2%	96.7%	84.5%	82.7%	90.0%
充足率	-3.2%	-2.4%	-1.0%	-1.3%	-1.7%	-1.3%	-1.8%	-0.9%	-1.1%	-0.3%	-1.4%	-1.5%	-1.4%

3 2015 年 6 月の雇用関連データのまとめ(2015 年 7 月 31 日公表)

◆就業者数、雇業者数ともに増加しており、企業の人材需要は活発

就業者数は 6,425 万人(前年同月比 36 万人増)、雇業者数は 5,665 万人(前年同月比 48 万人増)といずれも増加しており、企業の人材需要は活発な状況が続いていると考えられる。

◆完全失業者数は 224 万人で 61 カ月連続の減少となり、雇用環境は改善が続く

完全失業者数は 224 万人で前年同月比 21 万人の減少で 61 カ月連続の減少となった。時系列に前年同月を見ると、完全失業者数は 2011 年 6 月の 293 万人から 2015 年 6 月には 224 万人まで減少、完全失業率も同じく 4.60%から 3.40%へと低下しており、雇用環境は中長期的にも改善傾向が続いていることが分かる。

【主要雇用環境指標】

	2014年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
労働力人口(万人)	6,604	6,595	6,635	6,623	6,590	6,567	6,540	6,548	6,547	6,576	6,624	6,648
対前年同月増減(万人)	38	14	18	-6	-30	23	39	32	3	-16	-16	14
就業者数(万人)	6,357	6,363	6,402	6,390	6,371	6,357	6,309	6,322	6,319	6,342	6,400	6,425
対前年同月増減(万人)	46	53	43	24	0	38	47	39	21	4	2	36
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	57.3%	57.4%	57.8%	57.6%	57.5%	57.4%	57.0%	57.1%	57.1%	57.3%	57.8%	58.0%
対前年同月増減	0.4%	0.5%	0.5%	0.2%	0%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%
雇業者数(万人)	5,600	5,600	5,636	5,629	5,637	5,645	5,611	5,595	5,580	5,578	5,624	5,665
対前年同月増減(万人)	53	38	61	33	18	62	63	51	39	29	32	48
完全失業者数(万人)	248	231	233	233	219	210	231	226	228	234	224	224
対前年同月増減(万人)	-7	-40	-25	-30	-30	-15	-7	-6	-18	-20	-18	-21
完全失業率	3.80%	3.50%	3.60%	3.50%	3.50%	3.40%	3.60%	3.50%	3.40%	3.30%	3.30%	3.40%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

【6月の主要雇用環境指標の年次推移】

	2011年 6月	2012年 6月	2013年 6月	2014年 6月	2015年 6月
労働力人口(万人)	6,295	5,989	6,593	6,634	6,648
対前年同月増減(万人)	-329	-306	604	41	14
就業者数(万人)	6,002	6,304	6,333	6,389	6,425
対前年同月増減(万人)	-278	302	29	56	36
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	56.9%	56.8%	57.1%	57.7%	58.0%
対前年同月増減	0.1%	-0.1%	0.3%	0.6%	0.3%
雇業者数(万人)	5,269	5,528	5,571	5,617	5,665
対前年同月増減(万人)	-178	259	43	46	48
完全失業者数(万人)	293	288	260	245	224
対前年同月増減(万人)	-51	-5	-28	-15	-21
完全失業率	4.60%	4.30%	3.90%	3.70%	3.40%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆産業別の従業者数では医療・福祉が大幅に増加

産業別に就業者数・雇業者数を見ると、医療・福祉が 799 万人で前年同月比 50 万人増と大幅な増加になっている。次いで情報通信業が 12 万人増となった。一方、生活関連サービス業・娯楽業は前年同月比 19 万人減、製造業は前年同月比 17 万人減と大幅な減少となった。

【主要産業別の就業者数・雇業者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	240	510	1,020	218	330	1,047	150
	対前年同月増減	10	9	-17	12	-15	-7	-3
雇業者	実数(万人)	51	421	974	210	319	958	146
	対前年同月増減	0	15	-12	14	-13	4	-2

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類さ れない)
就業者	実数(万人)	114	216	387	228	313	799	407
	対前年同月増減	2	-1	0	-19	-2	50	11
雇用人	実数(万人)	102	165	325	176	284	765	363
	対前年同月増減	1	-3	-1	-14	-2	46	8

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆正規社員、非正規社員ともに増加

正規の職員・従業員数は前年同月比 21 万人の増加で 3,345 万人となった。

また、非正規の職員・従業員数も前年同月比 34 万人の増加で 1,970 万人となった。

非正規社員比率は 37.1%で前年同月比 0.3 ポイントの上昇となり、ほぼ横ばいの推移となった。

【雇用形態別雇用人数】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
役員を除く雇用人数(万人)	5,260	5,247	5,253	5,298	5,279	5,294	5,308	5,263	5,252	5,245	5,233	5,281	5,315
正規の職員・従業員(万人)	3,324	3,307	3,305	3,327	3,298	3,281	3,291	3,273	3,277	3,271	3,294	3,331	3,345
構成比	63.2%	63.0%	62.9%	62.8%	62.5%	62.0%	62.0%	62.2%	62.4%	62.4%	62.9%	63.1%	62.9%
対前年同月増減(万人)	-2	-6	-4	36	7	-29	18	31	58	38	6	7	21
非正規の職員・従業員(万人)	1,936	1,939	1,948	1,970	1,980	2,012	2,016	1,989	1,974	1,973	1,939	1,949	1,970
構成比	36.8%	37.0%	37.1%	37.2%	37.5%	38.0%	38.0%	37.8%	37.6%	37.6%	37.1%	36.9%	37.1%
対前年同月増減(万人)	36	60	42	30	16	48	49	33	-15	9	30	28	34

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆若年者の男性の完全失業率が高止まり

「15歳～24歳」の年齢層の男性の完全失業率が 6.2%で最も高い。また、前月よりも 0.4 ポイント上昇している。一方、「55歳～64歳」の年齢層では、男女ともに完全失業率が低下している。

【年齢階級別・男女別完全失業者・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率	対前月増減
			(季節調整値)	(ポイント)
総数	224	-21	3.4%	0.1
(男)	133	-10	3.6%	0.0
(女)	91	-11	3.1%	0.1
15歳～24歳	30	-8	5.6%	0.1
(男)	16	-6	6.2%	0.4
(女)	14	-2	5.2%	0.0
25歳～34歳	54	-1	4.6%	0.2
(男)	30	1	4.8%	0.0
(女)	23	-3	4.1%	0.0
35歳～44歳	50	-6	3.1%	0.1
(男)	27	-5	3.0%	0.0
(女)	23	-1	3.3%	0.3
45歳～54歳	40	0	2.8%	0.1
(男)	24	2	2.9%	0.1
(女)	16	-2	2.6%	0.0
55歳～64歳	36	-5	3.1%	-0.1
(男)	24	-4	3.5%	-0.2
(女)	12	-1	2.4%	-0.1
65歳以上	15	1	1.9%	-0.1
(男)	12	2	—	—
(女)	3	-1	—	—

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆「勤め先や事業の都合による離職」の減少傾向が続く

求職理由別に完全失業者数を見ると、「勤め先や事業の都合による離職」が前年同月比 6 万人の減少で 40 万人となり、減少傾向が続いている。

また、「自発的な離職(自己都合)」についても前年同月比で 10 万人の減少で 85 万人となり、4 カ月連続の減少となった。

【求職理由別完全失業者数】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	46	48	44	46	46	46	44	46	41	44	41	42	40
対前年同月増減(万人)	-16	-7	-13	-11	-18	-12	-7	-9	-8	-5	-6	-1	-6
定年または雇用契約終了による離職(万人)	27	26	26	22	26	24	21	24	24	26	32	25	26
対前年同月増減(万人)	-3	-3	-6	-8	2	0	0	0	-1	-1	-5	-6	-1
自発的な離職(自己都合)(万人)	95	94	93	96	91	84	85	93	93	85	87	88	85
対前年同月増減(万人)	3	-3	-8	3	-3	-10	-2	7	3	-5	-3	-2	-10

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆有効求人倍率、新規求人倍率、正社員有効求人倍率、3 指標共に前月と同じ

有効求人倍率は 1.19 倍、新規求人倍率は 1.78 倍、正社員有効求人倍率は 0.75 倍と、すべての指標共に前月と同じであった。

【有効求人倍率】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効求人倍率(倍)	1.10	1.10	1.10	1.09	1.10	1.12	1.15	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19
新規求人倍率(倍)	1.67	1.66	1.62	1.67	1.69	1.66	1.79	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78
正社員有効求人倍率(倍)	0.68	0.68	0.68	0.67	0.68	0.69	0.71	0.70	0.70	0.71	0.72	0.75	0.75

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

◆「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」、「建築・土木・測量技術者」、「情報処理技術者」で非常に厳しい人材不足となる

職業別に有効求人倍率を見ると、専門的・技術的職業の有効求人倍率は前月より 0.08 ポイント上昇して 1.61 倍となり、更に人材の不足感が高まっている。人材不足が続いている「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率は対前月比 0.2 ポイント上昇の 3.76 倍、「情報処理技術者」も対前月比 0.1 ポイント上昇の 2.11 倍となった。

また、慢性的な人手不足が続いている「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」は対前月比 0.3 ポイント上昇の 6.84 倍となり、人材不足が非常に厳しいレベルとなっており、各事業者においては人材の確保が大きな課題になっていると考えられる。

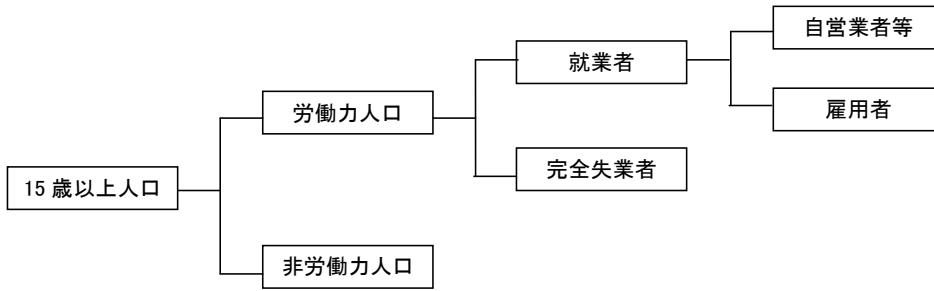
【職業別有効求人倍率(除パート)】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	4月	5月	6月
職業計	0.83	0.87	0.89	0.92	0.93	0.96	1.00	1.01	1.00	0.96	0.89	0.88	0.92
専門的・技術的職業	1.49	1.58	1.61	1.65	1.69	1.77	1.88	1.87	1.83	1.72	1.53	1.53	1.61
開発技術者	1.58	1.63	1.64	1.68	1.75	1.87	1.99	1.98	1.92	1.81	1.70	1.72	1.80
建築・土木・測量技術者	3.73	3.82	3.88	3.99	4.06	4.29	4.31	4.18	4.23	4.06	3.57	3.56	3.76
情報処理技術者	1.85	1.91	1.96	1.98	2.00	2.09	2.16	2.18	2.22	2.20	2.08	2.01	2.11
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	7.22	7.58	7.42	7.81	7.50	7.76	8.15	8.11	7.94	7.44	6.39	6.54	6.84
保健師、助産師、看護師	2.72	2.79	2.80	2.78	2.91	3.10	3.32	3.16	3.04	2.85	2.47	2.50	2.60
医療技術者	2.52	2.76	2.81	2.85	2.79	2.94	3.05	3.08	3.12	2.94	2.57	2.52	2.64
その他の保健医療の職業	1.09	1.21	1.27	1.30	1.34	1.39	1.48	1.39	1.41	1.39	1.26	1.22	1.27
社会福祉専門の職業	1.48	1.65	1.75	1.85	1.93	2.04	2.27	2.25	2.11	1.94	1.61	1.65	1.79
美術家、デザイナー、写真家	0.35	0.36	0.35	0.36	0.35	0.36	0.38	0.38	0.39	0.38	0.35	0.34	0.36
事務的職業	0.25	0.26	0.27	0.28	0.28	0.28	0.29	0.31	0.32	0.31	0.27	0.26	0.28
販売の職業	1.00	1.05	1.08	1.12	1.14	1.17	1.20	1.21	1.20	1.16	1.09	1.10	1.16
サービスの職業	1.50	1.59	1.65	1.69	1.75	1.81	1.91	1.90	1.85	1.78	1.73	1.77	1.84
生産工程の職業	0.88	0.91	0.94	0.96	0.97	1.00	1.02	1.04	1.04	1.01	0.95	0.93	0.96
輸送・機械運転の職業	1.51	1.53	1.55	1.58	1.63	1.67	1.72	1.72	1.71	1.65	1.57	1.58	1.61
建設・採掘の職業	2.78	2.86	2.95	3.03	3.15	3.27	3.24	3.07	3.04	2.92	2.70	2.72	2.8

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

<用語解説>

① 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなくして仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

② 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

③ 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

④ 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

⑤ 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

⑥ 充足率

就職件数／新規求人数 × 100 (%)